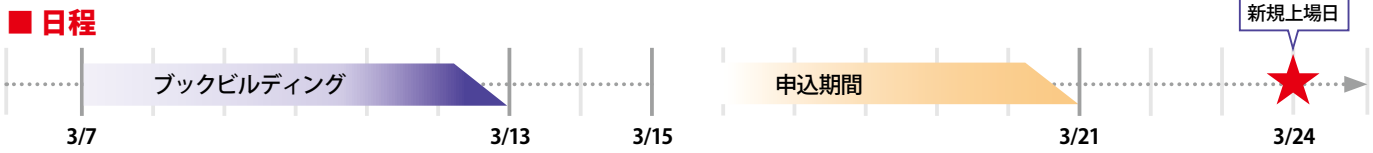


## IPO銘柄 ソレイジア・ファーマ (4597・マザーズ)

コード	投資単位	公開株式数	仮条件 (上限 PER)	主幹事証券
4597	100株	公募: 1,943.75万株 売出: 0.00万株 (OA291.56万株)	175円~ 185円 (-)	みずほ証券



## 悪性腫瘍治療に関連する医薬品・医療機器を開発

### ■ 事業内容

悪性腫瘍治療を目的とする医薬品の開発、販売を手掛ける。経皮吸収型グラニセトロン製剤の「SP-01」Sancusoは、粘着基剤中にグラニセトロンを含有。貼付後から持続的にグラニセトロンを放出するよう設計されており、悪心・嘔吐など悪性腫瘍治療に伴う副作用を軽減する。ミトコンドリア標的アポトーシス誘導剤「SP-02」darinaparsinは、有機ヒ素化合物を製剤化した医薬品候補で、未梢性T細胞リンパ腫に対する新しい作用機序により最終的な殺細胞効果を発現すると考えられる。この他、口腔内創傷被覆材料医療機器「SP03」episilは米国と欧州の一部ですでに販売が行われている。医薬品事業の単一業態。

### ■ 特徴

悪性腫瘍治療薬の投与や放射線治療による副作用を軽減し、悪性腫瘍に対する治療と、患者のクオリティ・オブ・ライフ (QOL) 向上が期待できる医薬品、医療機器の開発、販売を事業領域としている。中心パイプラインの「SP-01」は、5日間にわたって安定的に血中グラニセトロン濃度を維持することが可能な医薬品であり、患者が来院する必要がなくなるほか、経口投与でなくなるため医療現場の簡便化も可能となる。

## アナリストコメント

### ■ 定量分析

17年12月期の連結営業損益は17億8,700万円の赤字（前期は4億6,200万円の赤字）を見込む。研究開発費が先行して赤字拡大を見込んでいる。当面は既存開発パイプラインの進捗よくと中国における営業強化などに力を入れていく方針。

### ■ 定性分析

赤字のバイオベンチャーへのIPOマーケットの風当たりは強く、投資家のアレルギーもあって初値買い人気は異常なほどなくなってしまいそうだ。ただ、想定発行価格が最近のIPOでは類を見ない低水準に設定されており、絶対株価的に下げ余地は限られるとの見方も。

### ■ 需給状況

仮条件の上限で試算した市場からの吸収金額は約41億円。新興市場上場案件としては荷もたれ感が強く、かつベンチャーキャピタル保有株の多さもプレッシャーとなる。上場ラッシュの中でも買い対象とはなりづらく、厳しい初日が想定される。

(小泉健太)

### ■ 類似企業

ソレイジア・ファーマ(4597・マザーズ)	予想PER— (仮条件上限)
リボミック(4591・マザーズ)	予想PER—
グリーンペプタイド(4594・マザーズ)	予想PER—

### ■ 引受証券

みずほ証券、三菱UFJモルガン・スタンレー証券、SMBC日興証券、岩井コスモ証券、岡三証券、東海東京証券、マネックス証券、SBI証券、エース証券、極東証券、東洋証券、丸三証券

## 業績・財務指標

	売上高 (百万円)	前年比 (%)	経常利益 (百万円)	前年比 (%)	純利益 (百万円)	前年比 (%)	EPS (円)	1株あたり 年間配当金(円)
15年12月期(実績)	229	19 倍	-702	赤拵	-643	赤縮	-24.8	0.0
16年12月期(実績)	501	2.2倍	-462	赤縮	-474	赤縮	-18.5	0.0
17年12月期(会社予想)	423	▲ 15.6	-1,787	赤拵	-1,798	赤拵	-22.6	0.0

	発行済み 株式総数(株)	総資産 (百万円)	純資産 (百万円)	資本金 (百万円)	BPS (円)	自己資本比率 (%)	自己資本当期 純利益率(%)
14年12月期	58,155,827	1,878	253	1,871	-132.0	13.5	—
15年12月期	71,227,761	4,119	998	2,571	-134.7	24.2	—

## 大株主上位 (上場前)

	氏名または名称	所有株式数(株)	所有割合(%)
1	伊藤忠商事	22,850,943	31.31
2	JapanBridge (Ireland) Limited	21,058,018	28.86
3	Meiji Seika ファルマ	3,833,048	5.25
4	新生企業投資	3,229,680	4.43
5	Lee's Pharmaceutical Holdings Limited	2,254,722	3.09
5	三菱UFJキャピタル3号投資事業有限責任組合	2,136,394	2.93
7	荒井 好裕	2,115,902	2.90
8	MSIVC2012V投資事業有限責任組合	1,234,295	1.69
9	京東	1,231,807	1.69
10	協和発酵キリン	1,000,000	1.37

## 経営陣

役職	氏名
代表取締役社長	荒井 好裕
取締役CFO 管理本部長	宮下 敏雄
取締役	安倍 泰宏
取締役	通筋 雅弘
取締役	スタンレー・ロー
取締役	栄木 憲和
監査役(常勤)	鷺谷 興一
監査役	松尾 眞
監査役	戸井田 祐

# モーニングスターIPOレポートの読み方

## 特 徴

モーニングスター IPO<sup>(※1)</sup> レポートでは、日本国内の取引所に新たに上場する銘柄を取り上げ、モーニングスターが位置する中立的な第三者としての立場から IPO に関する情報を提供いたします。ブックビルディング<sup>(※2)</sup> が始まる前にレポートを提供することにより、IPO への参加を検討している投資家にとって有用な情報となるでしょう。モーニングスター IPO レポートには、企業名・コード・公開株式数など基本情報やブックビルディング期間・申込期間など IPO 日程のほか、モーニングスターの担当アナリストによるコメントを掲載いたします。

※1 IPO (Initial Public Offering)：新規株式公開。

※2 ブックビルディング：引受証券会社が機関投資家などの意見をもとに決定した仮条件を投資家に提示し、投資家の需要がどの程度あるかを把握することによって、マーケットの動向に即した公開価格を決定する方法。一般的に需要積み上げ方式と呼ばれる。

## 項目説明

### ■ 事業内容

新規上場する企業の事業概略を解説します。主要製品やサービスのほか、セグメント別の売上高構成比率などを記載。新規上場時の事業の状況や、先行きの見通しなども交えて分かり易くお伝えいたします。

### ■ 特徴

新規上場企業の設立経緯から現在の事業環境、ビジネスモデルや事業の強み、顧客動向、業績内容、海外展開、経営陣など様々な観点から特筆すべきエッセンスのみを抽出し、掲載いたします。

### ■ 定量分析

新規上場時に開示される前期、前々期の業績実績と今期の会社計画を用い、業績の成長性や収益性、財務安定性の面から新規上場銘柄を分析いたします。

### ■ 定性分析

新規上場銘柄が持つ事業の特性や事業環境、セクター動向などを踏まえ、定性的な評価をするほか、足元の株式市場の状況などを考慮して、マーケットから見た新規上場銘柄に対する見方なども掲載します。

### ■ 需給状況

公募・売り出しの株数と仮条件をふまえ、市場からの吸収金額を試算するほか、足元の新興市場の動向、類似企業の株価推移、ベンチャーキャピタルによる保有株放出の可能性なども考慮し、上場初日の需給状況を予想いたします。

### ■ 類似企業

新規上場企業と同じ業種に属する競合他社や類似企業を取り上げて PER を併記いたします。PER の水準は初値の参考指標として有効です。